

令和4年度第2期常陸太田市まち・ひと・しごと創生有識者会議 効果検証結果一覧

■基本目標1：稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
◎重点目標達成指数(KGI)：市内総生産額、市民1人当たりの平均所得額

※達成率(R3末)は、目標値(R6)に対する実績値(R3末)により算出しています。なお、実績値欄の[]は、単年度の実績数を記載しています。R3年度は、計画期間の「2年目」です。

| 重点業績評価指数(KPI) | 基準値(H30) | 実績値(R2末) | 実績値(R3末) | 目標値(R6) | 達成率(R2末) | 実績値に関する補足事項等 | 担当課 | 有識者会議からの意見 |
|----------------------|----------|----------|-----------------|---------|----------|---|------------|--|
| 具体的施策1 新たな市街地開発の推進 | | | | | | | | |
| 1 東部地区における就業者数 | 0人 | 累計0人 | 累計0人 [R3:0人] | 累計420人 | 0.0% | R5年春頃に東部地区の開業を予定しているため、R3年度末時点では実績値は0人となります。 | 都市計画課 | ●新型コロナウイルス感染拡大の影響という分析が多く見られるが、他に大きな原因はないのか。今後、新型コロナの影響が落ち着けば目標値に近づくと見通しがあるのかよく分析してほしい。 ●「実績値に関する補足事項等」について、減少の要因や改善策についてさらに踏み込んで記載してもらえると良い。 |
| 具体的施策2 企業等の経営強化支援 | | | | | | | | |
| 2 市の補助事業に取組む件数 | 8件 | 累計3件 | 累計7件 [R3:4件] | 累計55件 | 12.7% | 新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、中小企業等販路拡大事業費補助事業等に取組む事業者が少なかったことなどによります。 | 商工振興・企業誘致課 | ●具体的政策2・3は、新型コロナの位置付けが2類から5類に引き下げられる2023年度の実績値に期待したい。これらの実績値は、さらなる推進を図らないと人口減少対策に寄与しないと思われる。 ●東部地区の就業者数は、東部地区が今春開業となることから、R5年度の実績値に期待したい。 |
| 具体的施策3 起業・創業の促進 | | | | | | | | |
| 3 市の補助事業を活用した起業・創業者数 | 2人 | 累計1人 | 累計5人 [R3:4人] | 累計25人 | 20.0% | 新型コロナウイルス感染拡大の影響は残るものの、新規起業件数は増加傾向となりました。 | 商工振興・企業誘致課 | ●市民が市の補助事業をあまり知らないと感じる。 ●創業する際に市役所に相談に行く人は少ないと思う。 |
| 具体的施策4 市内就業の拡大と人材育成 | | | | | | | | |
| 4 工業団地立地企業の従業員数 | 967人 | 990人 | 977人 | 1,000人 | 97.7% | 前年比微減となったものの、目標達成に向け、順調に進捗しています。 | 商工振興・企業誘致課 | ●特に達成率の低い具体的施策3は、担当課の枠を超えた取り組みができると良い。 ●新型コロナウイルス感染拡大の影響により結果が著しくない施策が多いが、新年度以降からの動きが重要であるため、動き出しに向けて準備を進めてほしい。 |
| 具体的施策5 農業の生産力・販売力向上 | | | | | | | | |
| 5 農業産出額 | 484千万円 | 451千万円 | 415千万円 | 545千万円 | 76.1% | 基準値から減少しており、改善が求められます。 | 農政課 | |
| 6 認定農業者数 | 161人 | 147人 | 148人 | 180人 | 82.2% | 基準値から減少しているものの、昨年度と比較し、1名増加しています。 | 農政課 | |
| 具体的施策6 新規就農者の支援 | | | | | | | | |
| 7 新規認定就農者 | 1人 | 累計3人 | 累計4人 [R3:1人] | 累計10人 | 40.0% | 目標達成に向け、順調に進捗しています。 | 農政課 | |

■基本目標2：本市とのつながりを築き、本市への新しい人の流れをつくる
◎重点目標達成指数(KGI)：転入者数

| 重点業績評価指数(KPI) | 基準値(H30) | 実績値(R2末) | 実績値(R3末) | 目標値(R6) | 達成率(R2末) | 実績値に関する補足事項等 | 担当課 | 有識者会議からの意見 |
|-----------------------------|------------|----------|---------------------|------------|----------|---|-------------|---|
| 具体的施策1 居住環境整備等の推進による移住・定住促進 | | | | | | | | |
| 8 市の助成事業等を活用した転入者数 | 254人 | 累計184人 | 累計368人 [R3:184人] | 累計1,415人 | 26.0% | 新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、基準値から減少しています。 | 少子化・人口減少対策課 | ●新型コロナウイルス感染拡大の影響という分析が多く見られるが、他に大きな原因はないのか。新型コロナの影響が今後減れば目標値に近づくと見通しがあるのかよく分析してほしい。 ●基本目標1と同様、ウィズコロナに本格的に突入するR5年度の実績値に期待したい。総合戦略は次年度が勝負の年になると思われるため、大幅な実績値の上積みを目指してほしい。 |
| 具体的施策2 交流人口の拡大及び関係人口の創出・拡大 | | | | | | | | |
| 9 観光施設入込客数 | 1,522,234人 | 982,607人 | 1,013,979人 | 1,600,000人 | 63.4% | 新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、基準値から減少しています。 | 観光振興課 | ●特に達成率の低い具体的施策1は、担当課の枠を超えた取り組みができると良い。 |
| 10 外国人旅行者 | 2,732人 | 0人 | 0人 | 10,000人 | 0.0% | 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、日本への入国制限等があったことから、外国人旅行者の実績値は0人となります。 | 観光振興課 | ●数字のみで状況がわからない点が多い。転入者の傾向を分析することで新型コロナが落ち着いた後のスタートが変わると考えられるため、動き出しに向けて準備を進めてほしい。 |

■基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 ◎重点目標達成指数(KGI)：婚姻数，出生数

| 重点業績評価指数(KPI) | 基準値(H30) | 実績値(R2末) | 実績値(R3末) | 目標値(R6) | 達成率(R2末) | 実績値に関する補足事項等 | 担当課 | 有識者会議からの意見 |
|-------------------------------|----------|----------|----------|---------|----------|---|-------------|--|
| 具体的施策1 結婚推進 | | | | | | | | |
| 11 婚姻数 | 134組 | 121組 | 111組 | 180組 | 61.7% | 基準値から減少しており、改善が求められます。 | 少子化・人口減少対策課 | ●少子化対策は国でも大きな課題にしているため、国や県と連携して取り組んでほしい。 ●「実績値に関する補足事項等」について、減少の要因や改善策についてさらに踏み込んで記載してもらえると良い。 |
| 具体的施策2 安心して出産できる環境づくり | | | | | | | | |
| 12 出生数 | 217人 | 207人 | 196人 | 270人 | 72.6% | 基準値から減少しており、改善が求められます。 | 少子化・人口減少対策課 | ●現在展開中の各種施策は、先進例や近隣自治体と比較検討して磨きをかけ、地道に継続していくしかないと思う。 ●常陸太田市は市内の成人男性の未婚率が高いと思われるため、これまでの婚活事業の成果をよく分析してほしい。 |
| 具体的施策3 安心して子育てできる環境づくり | | | | | | | | |
| 13 子育て世帯の社会増減数(6歳以下の子どもがいる世帯) | 39世帯 | 17世帯 | 33世帯 | 50世帯 | 66.0% | 昨年度と比較すると増加していますが、基準値からは減少しており、改善が求められます。 | 少子化・人口減少対策課 | ●じょうづるはうすにきている子育て中の若いお母さん達に声をかけ、謝礼を出して、これまで結婚しなかった理由や子育てにおいて常陸太田市に足りない施策等を聴く機会を設けてはどうか。若い女性が市の施策に関わる機会にもなる。 |

■基本目標4：ひとが集う、安心して暮らすことのできる魅力的な地域をつくる
 ◎重点目標達成指数(KGI)：市民アンケートにより「住み心地がよい」と答えた人の割合

| 重点業績評価指数(KPI) | 基準値(H30) | 実績値(R2末) | 実績値(R3末) | 目標値(R6) | 達成率(R2末) | 実績値に関する補足事項等 | 担当課 | 有識者会議からの意見 |
|-------------------------|----------|----------|----------|----------|----------|--|---------|--|
| 具体的施策1 安心して暮らせるまちづくりの推進 | | | | | | | | |
| 14 交通事故(人身事故)発生件数 | 60件 | 42件 | 66件 | 30件 | -20.0% | 基準値から増加しており、改善が求められます。 | 市民協働推進課 | ●「実績値に関する補足事項等」について、減少の要因や改善策についてさらに踏み込んで記載してもらえると良い。 |
| 15 心肺停止患者の救命率(社会復帰率) | 4.6% | 3.8% | 3.1% | 5.0% | 62.0% | 基準値から減少しており、改善が求められます。 | 消防本部消防課 | ●具体的施策2の水郡線の利用者については、JRが便数などの運行状況を改善したくなるような気運の醸成を図るなど、市が働きかける必要があると思う。 ●水郡線の利用者減少は憂慮すべき事案。R5年度は「茨城デスティネーションキャンペーン」が行われるため、この好機を逃さず誘客に力をいれてほしい。 |
| 具体的施策2 便利で魅力的なまちづくりの推進 | | | | | | | | |
| 16 公共交通年間利用者数 | 705,381人 | 659,363人 | 539,187人 | 700,000人 | 77.0% | 新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、減少幅が大きくなっています。特に、水郡線の利用者の減少が顕著です。 | 企画課 | ●県立高校の2校は市教育委員会の施策の対象外ではあるが、大幅な定員割れが続いている。かつては水郡線沿線から市内に通っていた高校生が大勢おり、対象外とはいえ県立高校2校のサポートに本腰で取り組むべき。高校の衰退は、将来の市勢衰退につながると思う。 |
| 17 東部地区への進出決定企業数 | 6企業 | 6企業 | 6企業 | 17企業 | 35.3% | R5年春の一部開業により、R4末の進出決定企業数は増加する見込みです。今後とも企業への進出の働きかけを維持していきます。 | 都市計画課 | ●東部地区への店舗の移転がみられるが、店舗の移転に伴う空き店舗の対策を行ってほしい。 |
| 具体的施策3 誰もが活躍できるまちづくりの推進 | | | | | | | | |
| 18 社会教育施設年間延利用者数 | 840,121人 | 226,421人 | 295,971人 | 840,000人 | 35.2% | 新型コロナウイルス感染拡大の影響等は受けているものの、昨年度と比較すると回復傾向にあります。 | 生涯学習課 | ●大まかな数字だけではなく、地域・年齢等の分析をしてほしい。環境整備等で未然に防げるものがあるなら対策を行ってほしい。 |

■地方創生推進交付金事業

| | 事業名 | 事業の目的 | 担当課 | 有識者会議からの意見 |
|----|--------------------------------------|--|-------------|---|
| 19 | 地域資源を活用した常陸太田市ワーケーション推進事業 | ワーケーションをきっかけとした市内での滞在時間の延長を促し、交流人口や関係人口の拡大を図りながら、都内を中心とした企業人材、フリーランス人材、個人事業主等を当市に誘致するとともに、テレワークの推進及び移住支援を進め、首都圏のワーケーションやテレワーク人材の地方移住の促進を図ります。 | 少子化・人口減少対策課 | <ul style="list-style-type: none"> ●参加者が少なく、目的達成の為の効果十分には得られていないと思う。参加者を増やすアイデアがあると良い。 ●ツアー参加者は、どのような仕事をしている人なのか。どのような人材を移住候補者として想定しているのかわかると良い。 ●ウィズコロナが本格化するR5年度にワーケーション推進事業の真価が問われるのではないかと。市内温浴施設とワーケーション推進事業の組み合わせも検討してみてもどうか。 ●参加者アンケートにより、交通の不便さが挙げられていたと思う。例えばカーシェアリングを可能とするなど、寄せられた意見に対する改善をリーダー的な利用者や取り組み等検討してみてもどうか。 ●参加者のその後の動向が重要。お試してから個別のワーケーション等につながったのか、参加者の感想などを元に改善・継続すべき点の洗い出しをすべき。 |
| 20 | いばらきサイクルツーリズム推進強化事業 (※事業実施主体：茨城県) | これまでの水郷筑波地域での成果（つくば霞ヶ浦りんりんロード等）を活かし、特に人口減少が著しい県北、県央地域において、新たに設立した官民の協議会と連携しながら、継続したサイクルツーリズムの推進による地域振興につなげるとともに、移住・定住の促進に関わる施策を推進することで、将来的に人口増大及び産業振興、また地域の雇用確保につなげます。併せて、サイクルツーリズムによる滞在型観光の構築による消費喚起策を講じ、自転車活用推進によるサイクリング立県いばらきとしての地域ブランド確立を通じた地方創生の実現を目指します。 | 企画課 | <ul style="list-style-type: none"> ●つくば霞ヶ浦りんりんロードはそもそも人口が増えている地域。特にサイクリングができる年代の人口増が見られる地域に隣接していることが、利用者増の一因ではないか。人口減少地域や高齢化が進む常陸太田市では違ったアプローチをしないと利用者増にはつながらないと思う。 ●サイクルツーリズムの観点で見ると、常陸太田市は非常に魅力的な土地柄と断言できる。菜の花が美しい山田川・里川のサイクリングコース、旧3町村のヒルクライムコース、昼食の蕎麦等、日立市や水戸市近郊から大勢のサイクリストが常陸太田市を訪れている。JR常陸太田駅や道の駅ひたちおたの立地も発着基地に最適で、ここを拠点に県北を周遊できることから、常陸太田市はサイクリストの「ハブ」となる可能性を秘めている。 ●水戸市、常陸大宮市、那珂市、ひたちなか市は独自にサイクリイベントを開催しているため、常陸太田市主催でサイクリイベントを企画してはどうか。 ●サイクルラックを設置している場所が公共施設、準公共施設となっているが、実際に自転車に乗る人にとっては、コンビニ等があると便利ではないか。設置に関して補助金を出すなど、サイクルステーションの拡大を検討してほしい。 ●サイクリングを楽しむ人達にとって快適なサイクリング環境を整えるための計画が重要である。 |

■その他

| | | | | 有識者会議からの意見 |
|----|---------|---|---|---|
| 21 | その他の意見等 | / | / | <ul style="list-style-type: none"> ●新しい策を講じようという意欲がない限り、まち・ひと・しごと創生はうまくいかない。「新型コロナの影響」と論じてしまうところに意欲が感じられない。ウイルスや社会の状況の影響はもちろん大きいですが、それに負けずに新たな施策を次々に打ち出す意欲を市全体で持ってほしい。 ●新型コロナウイルス感染拡大の影響で結果が思わしくないことは仕方ないことだが、今後、新型コロナの状況が落ち着いても結果が改善されなかった場合、要因の追及が重要となる。 ●大勢の卒業生を輩出している太田一高および太田西山高の衰退が著しい。県立高校は県教委の所管であることは間違いないが、全国の人口減少自治体で地元高校を本気で応援している先進例はあるはず。あと2つしかない高校の存続に向けて、市としても腰を上げてほしい。 ●市役所の1Fロビーにイス、テーブルがあり、市民が集まれるようになっているが、あまりにもオープンすぎる。気楽に市民が集まれて、市の情報も取得できて、気楽に相談もできるような場所があると良い。 ●資料が単純な数字や具体的な内容のない表面的なものにとどまっているため、深い意見を出すことができない。実際にお試しワーケーションツアーに参加した方の反応やそこから明確になる課題を解決していくことで目標の達成につながると思う。 |